

【 第29回熊本大学定例学長記者懇談会 】

日 時：令和5年12月13日（水）14：00～15：00（予定）

場 所：教育学部 音楽ホール（熊本大学黒髪北キャンパス）

本学出席者：熊本大学長 小川 久雄

理事（研究・グローバル戦略・キャンパスミュージアム担当）大谷 順

理事（広報・ブランディング・行政連携担当） 宮尾 千加子

内 容：

1. 教育学部音楽ホールの完成について（資料1）
大学院教育学研究科 教授 山崎 浩隆
 - ① 熊本大学フィルハーモニーオーケストラ活動報告及び演奏
演奏曲目（予定）：芥川也寸志作曲「弦楽のための3楽章」より第1楽章
 - ② 熊本大学体育会吹奏学部活動報告及び演奏
演奏曲目（予定）：福田洋介作曲
「さくらのうた～中低音フレキシブル・アンサンブルのための」
2. 肥後銀行イノベーション応援プログラム成果報告について（資料2）
 - ① 株式会社えがお／大学院生命化学研究部
 - ② 株式会社ダイヤモンドブルーイング／
大学院先端科学研究部 附属生物環境農学国際研究センター
 - ③ トイメディカル株式会社／大学院生命科学研究部／病院
3. クラウドファンディングプロジェクトについて（資料3）
 - ① 外国人材の受入れ・共生を支える教員等養成・研修プログラム
大学院教育学研究科 教授 山城 千秋 教授 八幡 英幸
 - ② 熊本県の皆さんのために！心臓リハビリテーションの普及を！
病院 循環器内科 特任准教授 松澤 泰志
4. その他

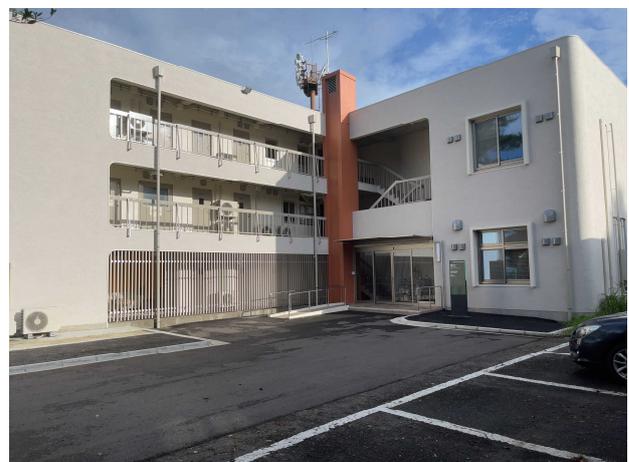


シン・音楽棟

音楽の授業は、東教室で行う

1971年 音楽棟が竣工

2023年3月 改修工事完了



シン・音楽棟

アップライトピアノ練習室 24 → 10

楽器庫・資料室に

グランドピアノ練習室 2 → 3

1F教員室2部屋 壁を除去 → 演習室に

エントランス



ホール正面



2F 講義室



2F 講義室

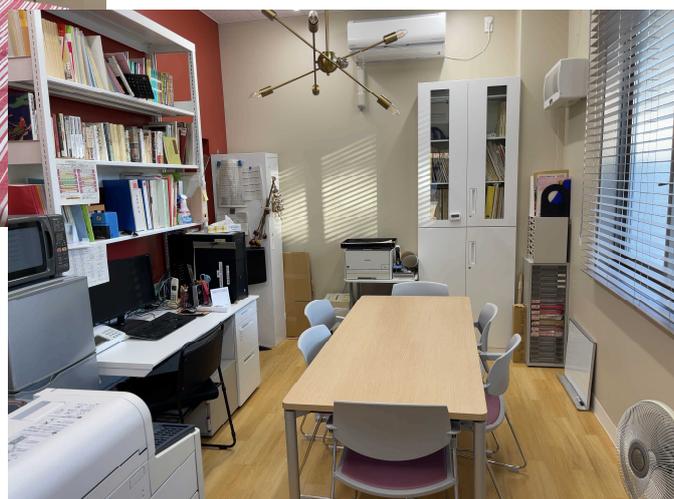


その他



↑ 準備室

↓ 事務室



その他



↑ 演習室

↓ 学生室



その他



柿落としイベント



第1弾 中原雅彦 准教授 テノール・リサイタル 2023年9月15日

第2弾 学生・附属学校生徒・児童・教職員による
ガラ・コンサート 2023年9月30日

第3弾 公開シンポジウム「大学におけるアートスペース」

2023年10月9日

熊本大学 フィルハーモニーオーケストラ

プレゼンター：西村美結・齊藤咲良



通称：熊大フィル

・「音と心のハーモニー」
をモットーにオーケストラ
活動をおこなう。

・創部60周年。

・部員数54名。

主なスケジュール

3月…春合宿、卒業式

4月…入学式

6月…サマーコンサート

8月…夏合宿

9月…巡回演奏会

12月…定期演奏会



卒業式

式終了後、晴れ着を着た卒業生と共に演奏。



♪ 行進曲『威風堂々(いふうどうどう)』第1番 ♪

元動画： <https://www.youtube.com/watch?v=YwQ1b-J5ELE>

入学式

式終了後、歓迎の気持ちを込めて演奏を披露。



今年度は「パイレーツ・オブ・カリビアン」メドレーを演奏。

写真出典：<https://www.t1park.com/02629066264122282323398-12469125401246312523news/-20235671164>

巡回演奏会

熊本県内の小学校を訪問。
今年度は熊本市、大津町、八代市、水俣市の小学校、計19校へ。

楽器体験の時間も！



熊本大学体育会吹奏楽部

～今年度の活動報告～

令和5年 12月13日

清永萌心

目次

- ・普段の活動
- ・吹奏楽コンクールについて
- ・依頼演奏について
- ・定期演奏会について

普段の活動について

2023/12/13

3

部員数

- 3年生 2名
 - 2年生 18名
 - 1年生 23名
- 合計 43名

2023/12/13

4

練習場所について

○ 学生会館



2023/12/13



5

○ くすの木会館



2023/12/13

○ 百周年記念館



6

吹奏楽コンクールについて

- ・ 第67回熊本県吹奏楽コンクール
→ 金賞 ・ 最優秀賞 ・ 熊本県代表
- ・ 第68回九州吹奏楽コンクール
→ 銀賞

2023/12/13

7

- ・ およそ**5年**ぶりの九州大会出場
→ コンクール出場も**4年**ぶり



2023/12/13

8

依頼演奏について

2023/12/13

9

熊本県警音楽隊定期演奏会 県民ふれあいコンサート ゲスト出演



2023/12/13



10

今後の活動

2023/12/13

11

熊本大学体育会吹奏楽部 第50回定期演奏会

- ◎ 創部20周年の際に保科洋先生に委嘱して誕生した『遥かなる歌』を約30年ぶりに再演します(改訂版初演)
- ◎ 日本・世界を代表するサクソフォン奏者須川展也先生をゲストにお迎えします

2023/12/13



遥かなる歌 (2023年改訂版) (創部20周年記念委嘱作品)
 保科洋
 インテルメッツォ (2017年度全日本吹奏楽コンクール課題曲III)
 保科洋
 BIRDS アルト・サクソフォンとバンドのための協奏曲*
 真部俊次
 アルメニアン・ダンス パートI
 ルリード
 ディズニー・メドレー
 石井真晴
 熊本吹奏楽部ヒットパレード 2023
 サクソフォンとバンドのための青春の輝き〜カーペンターズ 永遠のレパトリー〜*
 森田一浩
 スペイン*
 本多俊之・明光院正人
 ホレロ
 石井真晴

熊本大学体育会吹奏楽部
第50回定期演奏会
2023.12.24 SUN 15:00 open 15:30 start
 熊本市民会館シアーズホーム夢ホール

サクソフォン
 須川 展也

前売り 学生(大学生以下) 500円 一般 1000円
 当日 学生・一般 1000円
 チケット取り扱い 大谷泰隆 かわせ楽器 熊本市民会館シアーズホーム夢ホール
 お問い合わせ 070-4690-6651 (主幹: 清永)
 主催: 熊本大学体育会吹奏楽部
 後援: 九州吹奏楽連盟 熊本県吹奏楽連盟 熊本県文化協会 熊本市教育委員会 NHK 熊本放送局
 KKT 熊本県民テレビ 熊本朝日放送 熊本放送 テレビ熊本 熊本日日新聞社 エフエム熊本

今後とも体育会吹奏楽部へのご支援とご協力のほど
よろしく願いいたします。

ご清聴ありがとうございました。

肥後銀行イノベーション応援プログラムの成果について

肥後銀行と熊本大学の包括的連携協定について

株式会社肥後銀行 理事 地域振興部長 田邊 元 様

2

肥後銀行と熊本大学の包括連携協定について

令和3年6月30日に熊本大学と肥後銀行は包括的連携協定を締結し、熊本大学が有する研究成果や技術シーズと、肥後銀行が持つネットワーク及び金融面や、地方創生に関するノウハウの「共創」により、地域の持続的発展に貢献し、SDGsの達成に寄与することを目的としています。「肥後銀行イノベーション応援プログラム」は、本協定に基づき、地域企業の事業活性化を目指すために熊本大学で運用されています。

【目的】

地域の持続的発展に向け、産学連携、地域連携及び人材育成等について、相互に協力し、協働で推進するもの。

【連携事項】

- (1) 地域企業と熊本大学との共同研究に関する事
- (2) 地域の課題解決・発展に関する事
- (3) 熊本大学の研究成果の事業化促進及び大学発ベンチャーの支援に関する事
- (4) 人材育成・交流の推進に関する事
- (5) 熊本大学の保有資産の有効活用に関する事
- (6) 熊本大学が受け入れる寄附金拡大に関する事
- (7) その他、前項の目的に関連する事項で、協議の上合意する事項



3

肥後銀行イノベーション応援プログラムについて

熊本大学
熊本創生推進機構 教授
緒方 智成

4

肥後銀行イノベーション応援プログラムの概要

地域中小企業が新規事業の開発や課題解決のために大学と共同研究を行う際、**企業が十分な研究経費を確保できない場合や、大学研究者が研究資金が不足することを恐れて引き受けることを躊躇する**場合があります。そこで肥後銀行イノベーション応援プログラムでは、**研究資金の支援**を行うことで不足する研究費を補い、共同研究の実施を推進します。

また、地域中小企業が**大学の知の活用を望んでも、誰にどのように相談すればよいかわからない**場合もあります。そこで本プログラムでは、肥後銀行が中小企業を訪問した際に困りごとをヒアリングし、その情報を熊本大学に提供し、その課題に対応できる研究者との共同研究につなげ、企業の課題解決を支援します。

これらの活動により地域企業が**熊本大学の知的資源を活用しやすくなり**、地域企業の研究開発力が強化され**産業の活性化**が期待されます。

R3年度より開始した本事業は今年度3年目を迎え、いくつかの成果に結びついたため、これまでの活動の概要と一部の成果についてご紹介いたします。

5

肥後銀行イノベーション応援プログラムの流れ

- ・共同研究プランとマッチングプランの二種類
- ・年に3回の公募を実施
- ・熊本創生推進機構で審査のうえ、熊大研究者に研究費を支援

本プログラム
による支援



共同研究プラン	熊本大学と県内中小企業で設定された共同研究を対象とし、大学研究者に研究経費を支援	
	応募者	県内中小企業と共同研究を行う熊本大学の研究代表者
	支援対象	県内中小企業との共同研究を行う熊大研究者（学術コンサルは対象外）

マッチングプラン	技術課題を有しており、その解決に熊本大学との連携を希望している県内中小企業が肥後銀行に相談。熊本大学が適切な研究者をマッチングし、成立した場合に大学研究者に共同研究費・学術コンサルティング費を支援	
	応募者	技術課題を熊本大学との共同研究・学術コンサルティングにて解決したいと希望するが、研究相手が決まっていない県内中小企業
	支援対象	熊本創生推進機構が提案した研究者と企業とでディスカッションし、合意した共同研究・学術コンサルティングを行う熊大研究者

※ 共通条件

原資	肥後未来共創基金（うち本事業費は1,000万円/年）
支援制限	1研究テーマにつき、支援は最大2回
支援額	企業が支出する研究費額を上限とし、最大100万円/年（2回目は最大50万円/年）を熊大研究代表者に支給
支援期間	支援開始より1年間あるいは研究期間内の短いほう

6

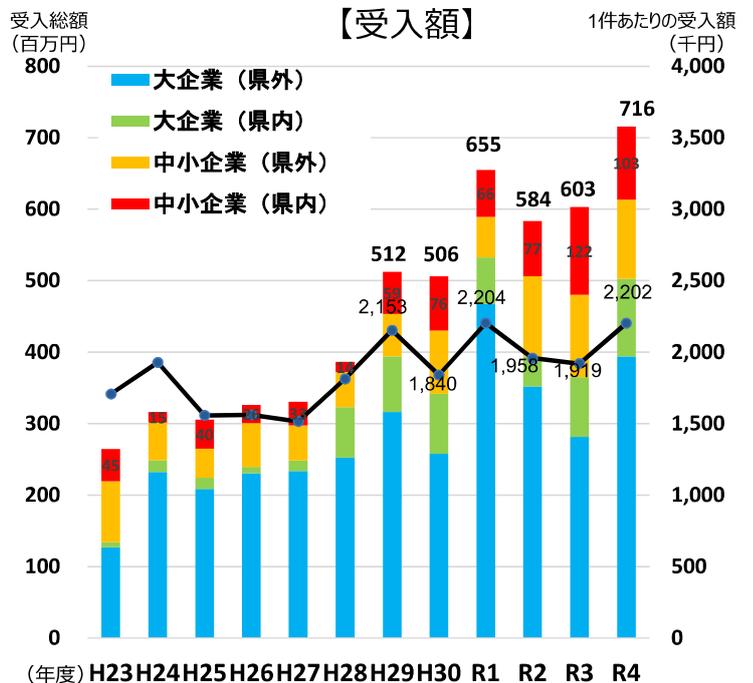
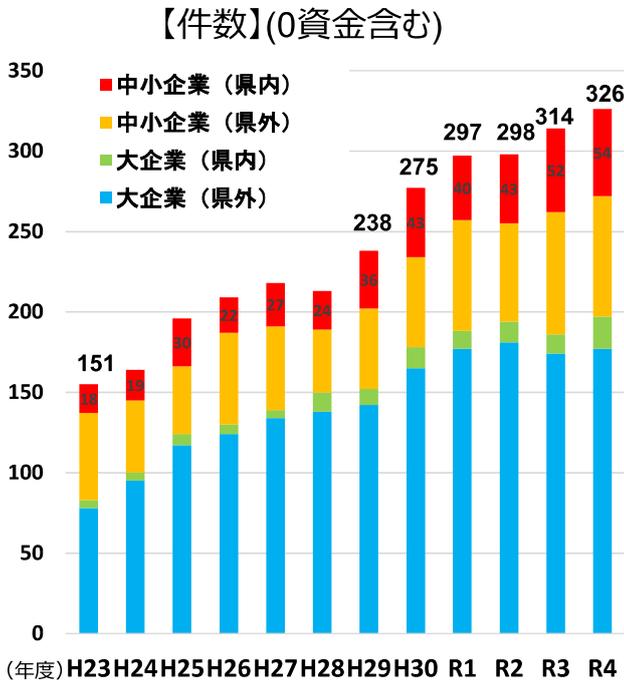
採択実績

年度	公募	募集期間	採択件数	
			共同研究プラン	マッチングプラン
R3年度	第1回	7/26～8/27	8	0
	第2回	10/4～10/29	7	0
R4年度	第1回	4/1～5/6	4	0
	第2回	7/25～8/26	2	1
	第3回	10/3～10/28	7	0
R5年度	第1回	3/27～5/2	3	0
	第2回	7/24～8/25	5	0
	第3回	10/2～10/31	2	1
計			38	2

7

令和4年度までの熊本大学と企業との共同研究について

- 総計は令和4年度は件数、受入額とも、過去最高(326件、716百万円)となった。
- 本事業が開始されたR3年度で県内中小企業との共同研究数は大きく伸びている。



【参考】企業向け案内パンフレット

熊本大学 熊本創生推進機構

肥後銀行 イノベーション応援プログラム

県内の中小企業の皆様の研究開発を応援します！

- ・熊本大学との共同研究に対し**最大100万円**の研究費を支援
- ・企業様の研究開発テーマに対し**熊本研究者をマッチング**

A.共同研究応援プラン

- 共同研究を始めたいが、高額を提案されると社内予算が厳しい。
- 共同研究を行いたいが、十分な研究費を納入できない。

→共同研究経費を納入いただければ、その研究経費を上限として、大学研究者に対し**最大100万円**を支給します。

B.マッチングプラン

- 研究開発を熊本大学と行いたい、誰に相談すればよいかわからない。
- 専門家に相談したり、意見を聞きたい。

→技術分野が合致する**熊本研究者**を紹介します。ディスカッションのうえ共同研究や学術コンサルティングを実施する場合、研究経費を上限として、大学研究者に対し**最大100万円**を支給します。

本制度は、肥後銀行の支援に基づき、地域産業の振興や新規産業の創出を目指し、熊本県内の中小企業と本学との共同研究を推進・支援するために企画しました。研究資金が十分ではなく、研究申込・実施に不安がある場合や、熊本大学の技術力を活用して研究開発を行いたい方が誰に相談してよいかわからない場合など、この制度をご活用いただき、本学との共同研究を是非トライしてください。

なお、A.共同研究応援プランは、第一期 7/26-8/27、第二期 10/4-10/29で公募を行います。B.マッチングプランは随時応募可能です。

詳しくは下記 Web サイトをご参照いただくか、下記問い合わせ先にご連絡ください

<https://kico.kumamoto-u.ac.jp/category/cat2/>

【問合せ先】熊本創生推進機構 イノベーション推進部門

E-mail : liaison@jimu.kumamoto-u.ac.jp

TEL : 096-342-3145

本制度に関するお問い合わせ、新規の共同研究や技術相談等、お気軽にご相談ください。

募集時期に企業に配布したチラシ

成果例 1 R3/R4年度採択

トイメディカル株式会社
代表取締役社長
竹下英徳 様

10

成果例 1 (トイメディカル株式会社)



会社名
トイメディカル株式会社

代表取締役社長
竹下英徳

従業員数
17名

所在地
熊本 (富合、御船)

設立
2013年10月9日



◆ 日本の食における大きな課題

1日あたりの塩分摂取量の目標値

日本: **7.0** g 未満
世界: **5.0** g 未満



実際の日本人の1日あたりの塩分摂取量

10.1 g

塩分過剰状態!!



生活習慣病のリスク上昇、健康寿命の短縮



これまでにトイメディカル(株)は世界で初めて
食事に含まれる**塩分**を**吸着**する技術を開発



技術の高度化、エビデンス強化・実証
のために共同研究を展開

11

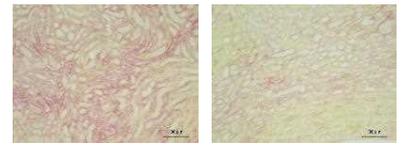
成果例 1 (トイメディカル株式会社)

□ 薬学部/大学院薬学教育部 製剤設計学分野・教授 本山敬一 先生

①疾患モデルにおける有用性評価

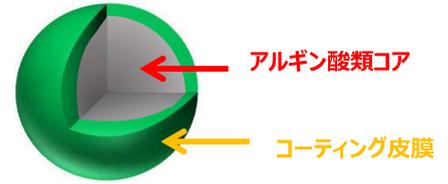
⇒アルギン酸類が慢性腎臓病の悪化を抑制することを解明

アルギン酸類なし アルギン酸類あり



②製剤技術によるアルギン酸類の高機能化

⇒特性を改善する新たな微粒子コーティング技術を開発



□ 熊本大学病院 薬剤部・准教授/副薬剤部長 城野博史 先生

①有効成分「アルギン酸塩類」の分析

⇒高速液体クロマトグラフィーによる定量分析法を確立



②熊本県 UX プロジェクト実証実験サポート事業に採択

⇒『デルソル』を用いた実証実験で血圧抑制効果を実証



12

成果の発展と活用 (トイメディカル株式会社)

☆ 成果の発展① ☆

令和 5 年度成長型中小企業等研究開発支援 (Go-Tech) 事業に採択

⇒ 経済産業省の公募する研究開発事業に採択 (全国で採択件数 3 件のみ)

⇒ 総事業費約 4.5 億円の研究開発プロジェクトへ発展

TOY
MEDICAL

共同
研究

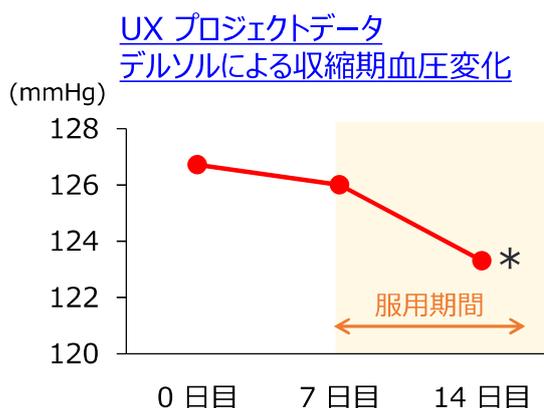


☆ 成果の発展② ☆

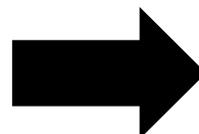
これまでに無かった『食事に含まれる塩分を吸着する調味料』を商品化

⇒ 塩分を吸着する食物繊維『アルギン酸類』を配合した調味料を開発

⇒ 食事の美味しさ・楽しさと健康を両立させる新たな商品として展開を目指す



デルソルの技術を
応用・発展



おいしく健やかな食生活を応援!!

様々な食のシーンに
塩分を吸着する調味料!!

13

成果例 2

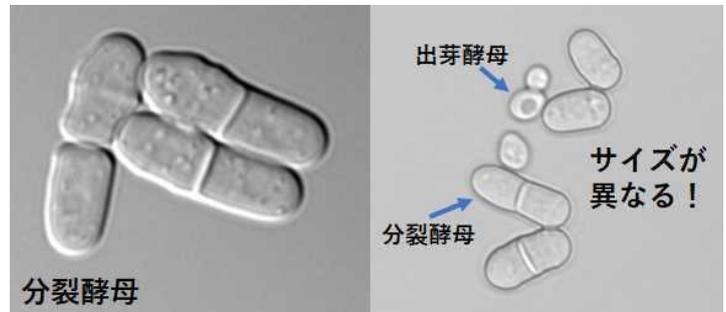
R4年度採択

熊本大学
生物環境農学国際研究センター
特任教授
谷 時雄

14

成果例

企業名	株式会社ダイヤモンドブルーイング
熊大研究者	熊本大学 生物環境農学国際研究センター特任教授 谷 時雄
成果商品名	分裂酵母Kumadai-M42株（第1弾）及びM23株（第2弾）使用 クラフトビール「Kumadai Craft Beer JAPONICUS」 ・発売日 第1弾 令和5年4月3日（月） 第2弾 令和5年11月6日（月）



分裂酵母ジャポニカス熊大育種株を使ったクラフトビールを株式会社ダイヤモンドブルーイングが製造したものです。

分裂酵母ジャポニカスは、一般にビール醸造に用いられる出芽酵母とは違い、均等に分裂していく珍しい酵母です。

15

熊本大学谷研究室とダイヤモンドブルーイングの 共同研究により世界初のビールが完成

分裂酵母 Kumadai 株を用いて醸造

熊本大学谷研究室で育種開発した分裂酵母ジャボニカス Kumadai-M23 株で発酵。ジャボニカスを用いたビール醸造と市販化は前回の醸造に続き**世界で唯一の取り組み**。

熊本大学生によるラベルデザイン

教育学部の学生によりデザインされたラベルはワクワクした気持ちにクラフトビールの弾ける泡の様子をスクールカラーである紫紺とうこんの2色で表現しています。

酵母由来の華やかな吟醸香

Kumadai-M23 株由来の酢酸イソアミル、カブロン酸エチルによりフルーティーで深みある日本酒の香りにスッカリとした酸味ある味わい。

熟成による味わいの深化

熊大クラフトビールの特徴の1つが**熟成**です。ビン内に沈澱した分裂酵母が低温でゆっくりと発酵を進め一段と深い味わいを醸します。冷蔵庫内で保管ください。



第一弾、第二弾共に
好評にて、数日で完売いたしました

成果例 3

R3/R4年度採択

株式会社えがお
 研究開発部
 松本祥幸 様

18

成果例

企業名	株式会社 えがお
熊大研究者	大学院生命科学研究部 教授 押海 裕之 グローバル天然物科学研究センター 特任准教授 和田 美貴代
成果商品名	肝油 鮫珠 (さめだま)



1粒の含有成分 (一財) 日本食品分析センター	
スクアレン	94.4mg
アルコキシグリセロール	23.4mg
DHA	4.28mg
EPA	0.72mg
ビタミンD	0.02μg
ビタミンA	9.09μg
ビタミンE	0.05mg

本事業ではサメ肝油に関して以下の効果について研究を実施

- ・ 炎症抑制
- ・ COVID-19感染症への影響

19

背景

江戸末期、福岡藩主の黒田長溥（くろだながひろ）が持病のリウマチ治療のため、オランダ軍医のポンペから肝油を処方されたことをきっかけに国内で広まったとされている
 参考：技術と文明7(2),1-23,1992

伝来当時の肝油は、リウマチ治療が目的

抗炎症作用？

グローバル天然物科学研究センター
 特任准教授 和田 美貴代 先生

生命科学研究部 教授
 押海 裕之先生

免疫調整作用？

唾液中s-IgA抗体の増進作用

補完代替医療学会誌12(1),45-49,2015

インフルエンザ感染・発症抑制

薬理と治療48(4),589-597,2020

薬理と治療48(10),1777-1781,2020

新型コロナウイルスに有効？

20

結果

肝油の薬理作用は滋養強壮と考えられていたが、免疫賦活作用による感染症防御、炎症抑制などその作用は多岐にわたることが推察された。

抗炎症作用

複数の抗炎症マーカーが低減 (In vitro)

シグナル伝達		p-ERK	p-p38	p-JNK	p-p65
	サメ肝油 (SLO)	↘	↓	↓	↓
	キミルアルコール (CA)	-	-	-	↓
	パチルアルコール (BA)	-	-	-	↓
	セラキルアルコール (SA)	↓	↓	↓	↓
	スクアレン (SQ)	-	-	-	-

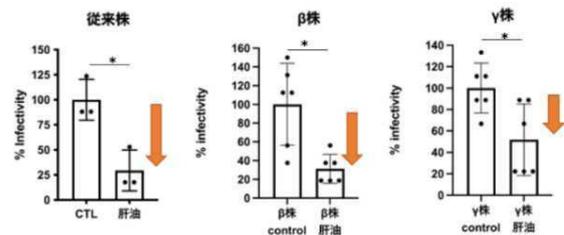
遺伝子発現		Tnfa	Il6	Il1b	iNos
	サメ肝油 (SLO)	↓	↓	↓	↓
	キミルアルコール (CA)	↓	↓	↓	↓
	パチルアルコール (BA)	-	↘	↘	-
	セラキルアルコール (SA)	↓	↘	↓	↓
	スクアレン (SQ)	-	-	-	-

炎症性物質放出		TNF-α	IL-6	IL-1β	NO	ROS
	サメ肝油 (SLO)	↓	↓	↓	↓	↓
	キミルアルコール (CA)	↓	↓	↓	↓	-
	パチルアルコール (BA)	-	↓	↘	-	-
	セラキルアルコール (SA)	↓	↓	↓	↓	-
	スクアレン (SQ)	-	-	-	-	-

機能的食品医学会,2023

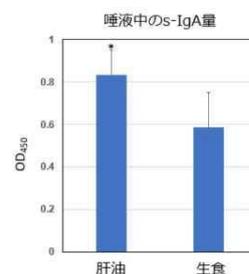
抗新型コロナウイルス作用

細胞への感染力低下 (In vitro)



ウイルス感染力防御に機能する

唾液中抗体濃度増加 (In vivo)





熊本大学クラウドファンディング第3弾
大学院教育学研究科・外国につながる児童生徒の教育検討委員会

外国人材の受入れ・共生を支える 教員等養成・研修プログラム

支援募集期間：2023年12月4日（月）～ 2024年1月28日（日）
目標金額：300万円（All or nothing方式）

説明者 外国につながる児童生徒の教育検討委員会
委員長 山城 千秋
ニーズ調査・クラウドファンディングWG
座長 八幡 英幸

目次

01.背景と目的

本プロジェクトの
背景と目的

02.計画概要

本年度と次年度
以降の計画

03.実施状況

本年度パイロット
実施の状況

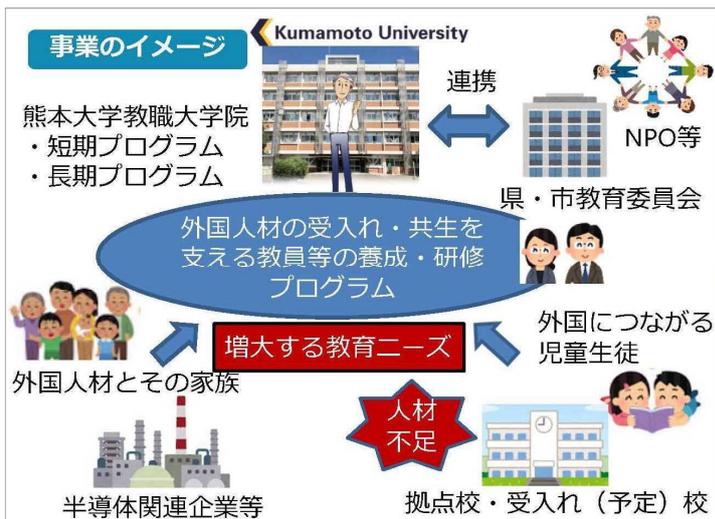
04.今後の展望

プロジェクトの継続・
発展のために

01.背景と目的

熊本では、世界的半導体企業TSMCの進出を機に、外国人材の受入れ・共生の重要な鍵の一つである**外国につながる児童生徒の教育の充実**が急務に。

しかし、**そのような子どもの学習支援・生活支援についての知識・技能を有する人材が不足**。



そのため、本学教職大学院では、県・市教育委員会やNPO等と連携し、文部科学省の事業指定を受け、**外国につながる児童生徒の教育を担う教員等の養成・研修の体制構築**を進めることに。

外国につながる児童生徒 ⇨ 外国籍の子ども、日本国籍でも外国にルーツを持つ子ども、母語や家庭での使用言語が日本語以外の子どもなど

3

学習支援・生活支援が必要な「外国につながる児童生徒」が全国的に増加

1. 日本語指導が必要な外国籍の児童生徒数



3. 日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒数



	令和2年（前年比）	令和3年（前年比）	令和4年（前年比）
外国人労働者数	12,922（4.7%増）	13,013（0.7%増）	14,522（11.6%増）
雇用事業所数	2,910（6.1%増）	3,064（5.3%増）	3,189（4.1%増）

令和4年度の熊本県の外国人労働者数は全国で第22位。前年度比11.6%増で、今度さらに伸びが予想される。

4

02.計画概要

(R5 : 文科省の事業指定 1年)

- ・外国につながる児童生徒の教育を担う教員等の養成・研修プログラムの開発
- ・短期（履修証明）プログラム等のパイロット実施



(R6以降 : 継続・発展)

- ・短期（履修証明）プログラムの常時開設
- ・長期（専門職学位）プログラムの開設
- ・外国につながる児童生徒の教育ネットワークの構築へ

5

外国につながる児童生徒を深く理解する人材

外国につながる児童生徒の教育に専門性を発揮できる人材

多文化共生の視点を有し学校・学級作り地域作りに貢献できる人材

外国につながる児童生徒の教育を担える人材を、一人でも多く県内の学校現場へ

03.実施状況：短期（履修証明）プログラムの開発

外国につながる児童生徒の教育Ⅰ（90分×8回）

内容：子どもの実態の把握、社会的背景の理解

外国につながる児童生徒の教育Ⅱ（90分×8回）

内容：日本語・教科の力の育成、異文化間能力の涵養

外国につながる児童生徒の教育Ⅲ（90分×8回）

内容：学校づくり、地域づくり

外国につながる児童生徒の教育Ⅳ（90分×8回）

内容：多文化共生の実現、教師としての成長

教育実践研究（12時間・事前事後指導を含む）

内容：日本語教育拠点校等における実習

計60時間の履修を終えた者に対し履修証明書を交付。



豆の木モデル：外国人児童生徒等教育を担う教員の資質・能力モデル

6

現職教員・社会人が受講しやすい実施方式の工夫

* 土日2日間で各科目（1単位）の受講が修了。（短期受講）

* 熊本大学で導入されているe-learningシステムMoodleを利用し、受講生は遠隔授業に取り組むことが可能。

* 期間内(令和5年9月～令和6年9月)に、必要時間の履修ができなかった場合は、受講期間を延長可能。

* 教育実践研究(参観実習)が、今年度の実施日に参加できない場合、不足する時間分は、次年度実施の実習への参加が可能。



受講者募集（8月）⇒ 開講（9月）

熊本大学
熊本大学大学院教育学研究科
履修証明プログラム（教職大学院）
外国人材の受入れ・共生を支える教員等養成・研修プログラム

令和5年度 受講生募集

受講開始：令和5年9月から
募集期間：令和5年8月1日～9月10日
受講期間：令和5年9月～令和6年9月（全60時間）
募集人数：20名程度
対象者：(履修資格) 学校教員 および教員免許保有者
受講費用：無料
応募方法：熊本大学教育学部・教育学研究科ホームページ専用フォームから応募をお願いします。



Kumamoto University
外国人材の受入れ・共生を支える教員等養成・研修プログラム
キックオフシンポジウム

今、熊本では、世界的半導体企業 TSMC の進出を機に、外国人材の受入れ・共生を促進する上で重要な鍵となる外国につながる児童生徒の教育の充実が急務となっています。
しかし、外国につながる児童生徒の学習支援や生活支援についての知識・技能を有する人材が不足しているため、熊本大学大学院教育学研究科では、熊本県・市教育委員会や NPO 等と連携し、外国につながる児童生徒の教育を担う教員等の養成・研修の体制を整備することとしました。
本シンポジウムでは、この新たな取組を紹介するとともに、本年度パイロット実施する教職大学院における短期（履修証明）プログラムの一部を公開します。

日時 令和5年(2023年)9月30日(土) 13時30分～16時30分
会場 市民会館シアーズホーム夢ホール
(熊本市民会館) 大会議室
参加費 無料 (コロナに配慮した定員100名)
申込方法 9月15日(金)までに下のQRコードにより参加申込をお願いします。

当初計画：20名

→ 希望者：53名
(全員受入)



研修風景



対面：オンライン＝ほぼ1：1
 外国につながる児童生徒の教育
 I・II 合格者は**実習**へ

研修の進捗状況（～12月上旬）

外国につながる児童生徒の教育 I（90分×8回）

内容：子どもの実態の把握、社会的背景の理解

外国につながる児童生徒の教育 II（90分×8回）

内容：日本語・教科の力の育成、異文化間能力の涵養

外国につながる児童生徒の教育 III（90分×8回）

内容：学校づくり、地域づくり

外国につながる児童生徒の教育 IV（90分×8回）

内容：多文化共生の実現、教師としての成長

教育実践研究（12時間・事前事後指導を含む）

内容：日本語教育拠点校等における実習

計60時間の履修を終えた者に対し履修証明書を交付

本年度分終了



豆の木モデル：外国人児童生徒等教育を担う
 教員の資質・能力モデル

実施中（I・II合格者）

04.今後の展望

(R5 : 文科省の事業指定: 1年)

- ・外国につながる児童生徒の教育を担う教員等の養成・研修プログラムの開発
- ・短期（履修証明）プログラム等のパイロット実施



(R6 : 継続・発展)

- ・短期（履修証明）プログラムの常時開設
- ・長期（専門職学位）プログラムの開設
- ・外国につながる児童生徒の教育ネットワークの構築へ

11

課題

- ・養成・研修を受けた人材が活躍しはじめ、プロジェクトの評価が定まるまでには一定の時間が必要
- ・それまでプロジェクトを継続・発展させていかなければならない

クラウドファンディング
実施

クラウドファンディング実施中 12/4~1/28

寄付金控除型 #熊本県 #社会にいいこと #まちづくり #子ども・教育 #国際協力 #大学

いまこそ熊本で、外国につながる児童生徒の教育を充実させたい



熊本大学大学院教育学研究科・外国につながる児童生徒の教育検討委員会



目標金額を達成した場合のみ、実行者は集まった寄付金を受け取ることができます(All-or-Nothing方式)。寄付募集は1月28日(日)午後11:00までです。

目標に達するご寄附をいただいた際には、**来年度以降も可能な限り受講料を免除し、広範囲の学校教員や教員免許保有者に受講を呼びかけ、「外国につながる児童生徒の教育の充実」に寄与して参ります。**

- プロジェクトの成功を心から願っています。頑張ってください！
- Ohno 19時間前 応援しています！
- めじろちゃん 22時間前 頑張ってください！

プロジェクトの寄付にすすむ

♡
7



ご清聴ありがとうございました



令和5年12月13日開催

熊本大学定例学長記者懇談会 資料3-2



熊本大学クラウドファンディング

熊本の心臓病患者様のために！
心臓リハビリテーションの普及を！

支援募集期間：令和5年12月4日～令和6年1月31日

目標金額：600万円（All or nothing型）

熊本大学循環器内科
松澤泰志 辻田賢一

熊本県
外来心リハ導入率

わずか **3%**

令和5年5月実施 アンケート調査

日本循環器学会ガイドラインClass 1推奨

心臓リハビリテーションの効果



心リハによる死亡リスク低減 日本の観察研究データ

心筋梗塞患者
死亡リスク
48%低減

狭心症患者
死亡リスク
28%低減

心不全患者
死亡リスク
33%低減

Circ Rep 2021; 3: 122 – 130
Circ Heart Fail. 2020;13:e006798.

熊本県

熊本心臓リハビリテーション
推進検討会

熊本県のみなさんが
健康で楽しく生活
できる未来を

心リハ推進事業

令和5年7月発足

熊本大学
Kumamoto University

心臓リハビリテーション

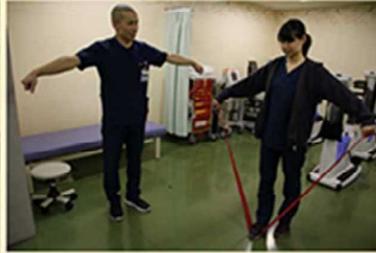
外来心臓リハビリテーション1日の流れ（約1時間）



準備体操



自転車



筋トレ



面談

急性期から回復期（3~5ヶ月まで）
運動、食事、服薬などを含む包括的疾患管理プログラム

横浜市立大学ホームページ https://www.yokohama-cu.ac.jp/fukuhp/section/center_disease/sinnzourihabiri.html

心臓リハビリテーションの概念

目的



構成要素



熊本県には全国に先駆けて
優れた循環器診療ネットワーク
循環器救急医療システム
高齢者の循環器疾患のさらなる増加

次は 心リハ診療体制の構築 日本一位を目指す



2023年7月28日18時～

第1回

心リハ推進検討会

ハイブリッド開催
病院 約50施設
100人以上が参加



熊本県
心リハ推進事業
組織図

世話人会

33病院から
33医師

事務局

熊大循環器内科

連携

脳卒中心臓病等総合支援センター
熊本県健康づくり推進課

ワーキンググループ

県内の病院から29人

パス
レジストリー

マップ

人材育成
教育



2023年11月13日 19～21時 第2回WG全体会議

短期目標

- 外来心リハ導入率向上（目標12%：日本一位）

最終目標

- 心リハ適応の全ての患者様に治療機会を提供できるシステムの確立
- 急性期、回復期、維持期の病院の機能分化・特化の促進とそれぞれの発展
- 高齢化に伴う循環器疾患パンデミックに耐えうる地域医療システム構築

解決しなければならない課題

心リハ提供施設の不足

心リハの専門家（心リハ指導士）の不足

心リハを提供するための病院間ネットワークの不足

心リハ治療選択肢が適切に説明できる環境ではない

心リハ指導士
受験サポート

勉強会の実施

心リハ実施施設
マップ作成

連携強化のため
のパス作成

わかりやすい
説明資材作成



医療者の思い
「良い医療を提供したい！」

クラウド
ファンディング

熊本の心臓病患者様のために！ 心臓リハビリテーションの普及を！

支援募集期間：令和5年12月4日～令和6年1月31日

目標金額：600万円（All or nothing型）

熊本心リハ レディーフォー **検索**

<https://readyfor.jp/projects/kumamotoCR>

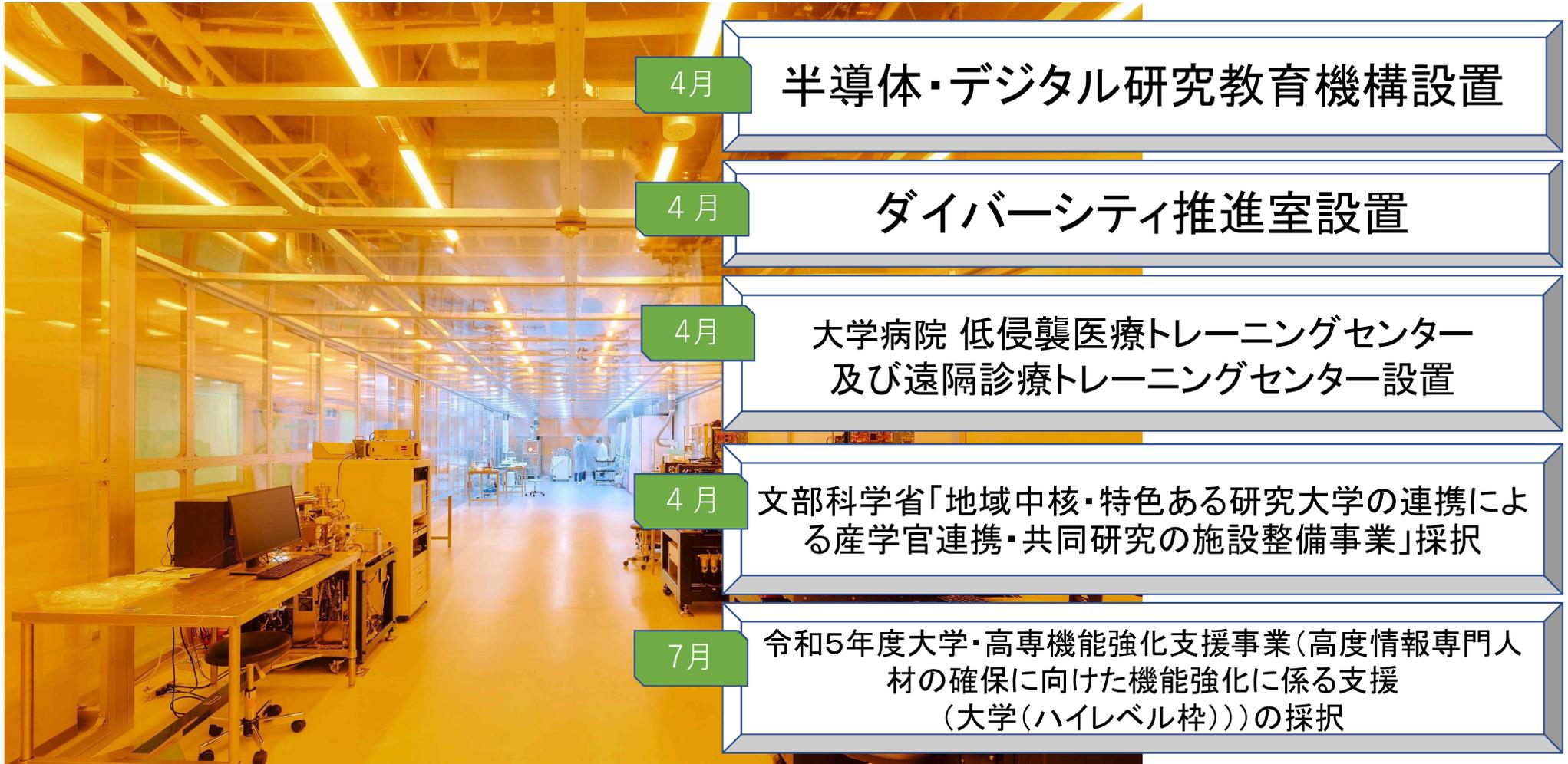


熊本大学循環器内科
松澤泰志

matsuzawa-y@kumamoto-u.ac.jp
TEL: 096-373-5442

熊本大学 2023 10大ニュース

2023.12.13



4月

半導体・デジタル研究教育機構設置

4月

ダイバーシティ推進室設置

4月

大学病院 低侵襲医療トレーニングセンター
及び遠隔診療トレーニングセンター設置

4月

文部科学省「地域中核・特色ある研究大学の連携による
産学官連携・共同研究の施設整備事業」採択

7月

令和5年度大学・高専機能強化支援事業(高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援
(大学(ハイレベル枠)))の採択

熊本大学 2023 10大ニュース

2023.12.13



7月

情報融合学環・
工学部半導体デバイス工学課程設置認可

9月

オープンイノベーションセンター(OIC)
設置

9月

東京大学大学院工学研究科との部局
間連携協定締結及び東大分室設置

11月

クラウドファンディングプロジェクト開始

12月

大学病院 遺伝診療センター設置